

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※（ ）は他戦略との重複分

名 称	決算額		予算額		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275 千円	830,789 千円	千円	千円	千円
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261 千円	1,128,518 千円	千円	千円	千円
計	1,091,536 千円	1,959,307 千円	千円	千円	千円

戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
49.2	44.4					60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
5.7	6.3					8.0

■成果動向（評価）

子育て世代の定住促進に向けた各種事業を展開しており、待機児童解消のため、グループ型小規模保育施設を2箇所開設するとともに、白樺・若草乳児統合園建設整備に係る基本・実施設計を策定しました。また、小学校外国語活動を3・4年生（全校）と1・2年生（一部）に拡大するとともに、子育てひろばにおける多様な講習会等の開催や、あそびのひろばを2箇所新設するなど、子育て環境を整備しました。これらの事業展開が、3 A-2の成果指標である転入してきた子育て世代の割合の上昇につながりました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

成果指標3 A-1の割合を高めるため、引き続き事業の推進を図る必要があります。待機児童解消に向け、小規模保育施設等の地域型保育事業の拡大や、白樺・若草乳児統合園の建設着手、教育内容の充実として、サポート教員ボランティアの登録促進、外国語指導助手の確保及び大学との連携等に努め、子育てひろばにおけるソフト事業の充実や、あそびのひろば事業の更なる推進など、子育て支援環境の整備を図ります。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・地域型保育事業の実施による待機児童解消の推進
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進（若草乳児保育園と白樺保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
待機児童解消対策事業	待機が解消された児童数	13 人	99 人	人	
	事業費	6,475 千円	113,109 千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業	入所児童数	116 人	140 人	人	
	入所率	97 %	100 %	%	
	事業費	22,077 千円	657,459 千円	千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全中学校で放課後の補充的学習を実施
- ・小学校4年生以下へ外国語活動を拡大
- ・大学による出前講座など、体力向上の支援
- ・市営住宅各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
小中学校学習サポート事業	年間派遣人数	33 人	36 人	人	
	事業費	9,163 千円	9,341 千円	千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合	83 %	70 %	%	
	事業費	635 千円	636 千円	千円	
小学校外国語活動支援事業	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	100 %	100 %	%	
	事業費	19,099 千円	21,296 千円	千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- 地域で歩いて行ける範囲でのひろば事業の空白地域の解消
- ひろば事業とサロン事業の整理
- 多世代交流の場の創出

<取組の概要>

- ・親子安心育成支援事業子育てひろばにおけるソフト事業の充実
- ・あそびのひろば事業の空白地帯を解消し、新たな事業展開をすることにより地域の子育て支援環境を整備

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延利用者数	93 千人	80 千人	千人	
	託児延利用者数	397 人	900 人	人	
	事業費	24,139 千円	26,014 千円	千円	
あそびのひろば事業	子育てひろば及びサロン参加組数	1,513 組	1,800 組	組	
	事業費	2,687 千円	2,934 千円	千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6					74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7					78.0

■成果動向（評価）

個別事業については、計画に基づき段階的な取組を進めているところであり、ほぼ計画どおり進捗しています。成果指標は3B-1及び3B-2においても、初期値から横ばい傾向となっています。なお、江別の顔づくり事業として進めている野幌駅周辺では、北口駅前広場が完成し、広場内のバス利用が始まるとともに、各駅周辺のバリアフリー化が進むなど、駅周辺の利便性が向上しています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

成果指標3B-1及び3B-2の目標達成のため、今後も野幌駅周辺の基盤整備を進めるとともに、バス路線の再構築の検討に向けた地域公共交通会議の拡充や、バス実証運行を行うほか、大麻地区での住みかえ相談など、自主的な運営に向けた組織づくりの検討を進めていくことで、更なる成果向上を図る必要があります。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業進捗率(累計)	69 %	86 %	%	
	事業費	1,001,384 千円	1,108,442 千円	千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス交通の利用促進
- 情報提供の推進
- 交通機能の向上

<取組の概要>

- ・駅を中心としたバス路線見直しに向けた新路線の調査と実証運行の検討
（実証運行後はバス会社による運行を目指す）
- ・バス路線マップの配布とバス利用の啓発継続

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	548 千人	548 千人	千人	H27は事業費 H26は補正前倒し
	事業費	2,934 千円	0 千円	千円	18,338千円

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住みかえニーズの把握
- 高齢者の住みかえ先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 事業者の意向把握

<取組の概要>

- ・大麻地区での住みかえ相談窓口の運営等
- ・実態調査と事業者の把握



事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
大麻地区住環境活性化事業	大麻地区の人口	28,801 人	28,801 人	人	
	事業費	2,943 千円	1,738 千円	千円	